

上手太鼓踊り



踊り手は諏訪神社の氏子を主体とし、五穀豊穡と無病息災を祈願して奉納されたものだという。

大太鼓の者は、毛笠をかぶり、陣羽織に股引き、脚絆、白足袋に草履履きのいでたちで背中に矢旗幟のついた竹竿を背負う。

小太鼓並びに鉦の者は、花笠に法被股引き脚絆、白足袋に草履履き、櫓を十字に絞して踊る。

踊の種目は、(1) 雷楽（かみなりがく）

(2) 門楽（もんがかい）

(3) 引出楽（ひきだしがく）

(4) 庭入楽（にわいりがく）

(5) こんきゅう楽（こんきゅうがく）

(6) ほどき楽（ほどきがく）

(7) 前うたんじ楽（まえうたんじがく）

(8) 前唄（まえうた）

(9) 後唄（あとうた）

(10) 後うたんじ楽（あとうたんじがく）

(11) 引き楽（ひきがく）

(12) 四八べ楽（しじゅうはっべがく） からなる。

【奉納・披露】

日程：市比野上手夏祭り時(開催未定)

場所：市比野3区広場（樋脇町市比野）